

第4回 府中市総合計画市民検討協議会開催結果（要旨）

- 1 開催日時 平成24年3月10日（土）午前9時30分～正午
- 2 開催場所 府中市役所北庁舎3階第1～3会議室
- 3 出席委員 53名（公募市民32名、公募職員21名）
欠席委員12名
- 4 出席職員等
堤原政策課主査、吉川政策課理事、河野政策課主任、パシフィックコンサル
タnts(株)（斎藤氏、山口氏）
- 5 傍聴者 2名
- 6 議事日程

議事日程に入る前に、本日の傍聴の申出が2名あり、諮ったところ全員異議なく了承を受けた。（傍聴者2名入室）

次に、本日の委員の出欠状況について、委員65名のうち53名の出席があり、会議は有効に成立しているとの報告を行った。

続いて、配付資料（資料1～4）の確認等を行った。資料1は第3回市民検討協議会開催結果（要旨）、資料2は第3回市民検討協議会部会別報告書。なお、資料2の各部会の報告書のうち、生活・環境部会の修正後の報告書2枚は追加配付したもの。資料3は「現計画の総括」として前回配付したものの残りの部分で健康・福祉部会は、1-4から1-8の5枚、生活・環境部会は、2-4から2-6の3枚、文化・学習部会は、3-1、3-2、3-6、3-7、3-9の5枚、都市基盤・産業部会は、4-5から4-8の4枚を追加配付した。

（1）議事録の確認

平成24年2月18日開催の第3回市民検討協議会開催結果（要旨）及び部会別報告書の確認について、資料1及び2により説明を行った。

資料1については、特段、加除修正の申出はなかった。資料2については、生活・環境部会の報告書について加筆の旨の申出があった。まず、2ページの「役割分担の考え方」の「市民の役割」の4番目に、「市の地史上貴重な府中崖線の保全活動を、一部市民団体が行っているが、まちづくりで日常接する「身近な自然とみどり」として、地形、地質、生物多様性、景観など生活・環境上、得難い崖線であり、保全し自然環境学習に活用するなど、全市民レベルで自然保護活動することが適切である」を追加する。

次に、「行政の役割」の1）「自然と調和したまちづくり」の2番目に、「市内に連続する府中崖線は、年々減少傾向にある。潤いのまちづくりのため、府中崖線を確実に保全するため、緑地保全法の適用による特別緑地保全地区、または市指定の天然記念物に指定し、公有地化し、次世代に引き継ぐ具体的な対策を取る必要がある」を追加記述する。また、2）「市民への自然保護の啓蒙」の

4番目に「府中崖線の地形地質の成り立ちや、植物、動物など全般の生物多様性の現状認識をするためには、府中市のモデルとなる貴重な自然であり、子供から大人まで認識を深める身近な教材として、行政、学界、市民が一体となって啓蒙活動する必要がある」を追加記述する。

以上の修正等については、全員異議なく、配付資料のとおり、開催結果（要旨）及び各部会の報告書を確定し、市ホームページ、中央図書館、情報公開室等で公開することです承を受けた。

（2）部会別会議

（1）基本施策別のめざすまちの姿・課題・役割分担の検討

前回に引き続き、「基本施策別のめざすまちの姿・課題・役割分担の検討」について、各部会ごとに検討を行った。

部会別検討の終了後、各部会での進捗状況を確認したところ、進行状況の確認が得られたため、本日の検討会を終了した。（各部会での検討内容、検討結果は別紙のとおり）

（3）その他

「その他」として、事務局より2点について説明を行った。1点目は、参考配付した「市民の意見を聴く会」チラシについてで、平成24年3月16日（金）から3月18日（日）までの3日間、市役所会議室及び各文化センター（中央文化センターを除く）にて、第6次府中市総合計画策定のための「市民の意見を聴く会」を開催する。委員の方々も、ぜひご参加いただき、市民の声を聴いていただきたい。

2点目は、次回の市民検討協議会の開催は、第5回を平成24年4月7日（土）午前9時30分から、第6回を4月14日（土）午前9時30分からとしたい。なお、第5回及び第6回の開催通知については、2週続けての開催となるため、第5回の通知にて行うことです承いただきたい。

質疑等はなく、次回の検討協議会の日程については、平成24年4月7日（土）午前9時30分開催することとし、閉会した。

（ 以 上 ）

※配付資料

- 資料1 第3回市民検討協議会開催結果（要旨）
- 資料2 第3回市民検討協議会部会別報告書
- 資料3 現計画の総括
- 資料4 歳入歳出決算額の推移（普通会計）
- 参考 「市民の意見を聴く会」チラシ